

平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 11 - 24

1 事務事業の表示

■ : 該当

事務事業名	新学習指導要領に伴う備品整備事業					
評価者	担当課名		教育振興課		担当係名	
	管理職	職名	課長		作成者	職名
		氏名	高橋健仁			氏名
事業の概要	新学習指導要領の実施に伴う教科書の大判化に合わせて、雄武小学校及び雄武中学校の児童生徒用机・椅子の更新を行う。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 23 年度 ~ 24 年度)	
					事業費	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
一般財源	5,274 千円					
事業費計	5,274 千円					
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総 合 計 画 (前期)			■ 登載事業		非登載事業	優先度 A
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~				
	基本施策	12 学校教育の充実				
	単 位 施 策	2 小中学校の教育環境の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	4,124 千円	千円	千円
	地 方 債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合 計	千円	千円	4,124 千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童・生徒	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	小中学校学習指導要領の改正により教科書が大判化されるが、雄武小学校及び雄武中学校においては未整備であり、また、児童生徒用の机・椅子が更新を要する時期となっている。	小中学校のうち整備を要する小中学校数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童生徒用机・椅子を更新し、教育環境を整える。	指標(指標計算式/解説)	要整備小学校数	目標年度	平成22年度
				目標値	1 校
				実績値	1 校
				達成度	100.0 %
				目標年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	教科書等のサイズや個人の体格に適した机・椅子を使用することにより、授業に集中できる環境が整う。			目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
物品購入	学校から要望を聞き取り、適した机・椅子を選定し、入札により物品を発注し、整備を行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	☒ 義務的なもの	学校授業における机・椅子は必要備品であり、適正時期の更新を要するものである。また、環境に見合った机・椅子の整備は重要である。
	☒ 全部 ☐ 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	雄武小学校の机・椅子の更新ができ、児童の授業への意欲が増している。
	☒ 達成 ☐ ほぼ達成 ☐ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	雄武小学校の机・椅子の購入は、平成23年度実施予定の事業であったが、平成22年度に前倒しすることにより活用可能な交付金があったことから、全額交付金を財源とし購入することができた。
	☐ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☐ 時間短縮・作業軽減 ☒ その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	更新を要する学校の机・椅子が整備され、等しく適した授業環境が保たれる。
	☐ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☒ その他	

4 総合評価(A～D)

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
交付金の活用により当初予定より1年早く事業が実施でき、児童が授業に集中できる環境が整った。		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持		
雄武中学校の机・椅子を同様の更新を行い、環境整備を図る必要がある。		

*展開方向の区分

- 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--